

2024年度 全国選抜小学生



プログラミング大会

奈良県大会

■主催=奈良新聞社
■共催=独立行政法人 国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校
■後援=文部科学省・経済産業省・デジタル庁・奈良県教育委員会・奈良教育大学・平城京魅力創造プロジェクト_市
■協賛=奈良OAシステム株式会社・ヨシリツ株式会社・株式会社夢叶處・一般社団法人社会課題解決支援協会



絵：広瀬克也

「全国選抜小学生プログラミング大会」奈良県大会は、応募32の団体・個人の中から第一次審査を通過した10人が最終審査に挑みました。審査員4人による審査の結果、王寺南義務教育学校6年に通う芳村咲帆さんが「パソコンを使わせて！」の作品で最優秀賞に選ばれました。芳村さんは来年3月2日に東京都内で開かれる全国大会に出場します。その様子は、リアルタイムでライブ配信され、大会のホームページから視聴することができます。



代表取締役 松本 知

芳村咲帆さん、最優秀賞受賞おめでとうございます。それと今大会にご出場された皆さん、「みんなの未来」にアイデアを発信することはとても素晴らしく、また「みんなの未来」はそんな皆さんが創っていく世界です。私たち奈良OAシステムもダイバーシティ社会の実現と、社会貢献できる企業を目指して発展し続けます。

奈良OAシステム

奈良県大和高田市大字松塚755番地1
☎0745-23-7000



LaQ(ラクキュー)は、7種類のパーツから平面・立体・球体とあらゆる形に変化するパズルブロックです。完成するまでを考えて、手を動かすので論理的思考力の養成にピッタリです。

LaQ YOSHIRITSU

奈良県吉野郡大淀町越部1563番
☎042-382-3955(東京事務所)



私たちは、関わるすべての人の夢の実現のため時代に合わせた学びのばしょ(處)を提供し続けます!の経営理念の下、たくさんのお子たちの夢を叶えるお手伝いをします。

デジタル寺子屋 ゆめとこ 夢叶家

奈良県橿原市新賀町232 橋本第2ビル2階
☎0744-29-1043(プログラミングアカデミー)



当協会は「災害関連死ゼロ」への挑戦!を信念に災害弱者といわれるよう要配慮者の命も平等に「扱われる」地域の環境作りを整えています。

一般社団法人 社会課題解決支援協会

奈良事務所/奈良県奈良市丸山2-4498-50
☎050-6878-0795



「奈良県大会」にご支援を賜りまして、ありがとうございました。



出場者全員で記念撮影

告知イラストは人気絵本作家が担当。子どもたちに人気のある絵本作家「広瀬克也(ひろせ)さん」が描きおろしたイラストが今回のチラシを飾りました。広瀬さんと夫と親交がある奈良新聞社員が特別に依頼したところ「子どもたちが少しでも目を留めてくれたら」と快諾。奈良ゆかりの妖怪「砂かけばば」を含む妖怪たちが、賑やかに参加者募集の告知物を彩りました。

最優秀賞と聞いたときはとてもびっくりしました。他の出場者の作品もすごく、「まさか自分が」という気持ちでした。全国大会では、今の作品をさらにレベルアップして、頑張りたいです。当日のプレゼンテーションも、リラックスして、審査員の人たちにこれまでの成果を見せたいです。応援よろしくお願ひします。

受賞者は以下の通りです。
▽最優秀賞 芳村咲帆さん(王寺南義務教育学校6年)
▽優秀賞 荒木登生さん(4020年の世界) 三郷北小5年
▽審査員特別賞 久保奏颯さん(赤き絆 命をつなぐ) 血まじりが今できること(上牧第二小6年)、平井龍之介さん(僕の未来の仕事) 奈良女子大附属小5年
▽奈良新聞社賞 濱田大地さん(少子高齢化問題で私たちにできること) (河合第二小6年)、井上柳央さん(幸せな世界) (広陵北小5年)、山崎権成さん(防災スクール) (真美ヶ丘東小5年)
▽クリエイティブ賞 吉田心春さん(地球を守れ! 地球温暖化問題) (川西小6年)
▽アイデア賞 野上暁登さん(国際問題探検家) (上牧第三小6年)
▽未来賞 高島有里さん(4020年の世界) (三郷北小5年)
▽審査員特別賞 久保奏颯さん(赤き絆 命をつなぐ) (血まじりが今できること) (上牧第二小6年)、平井龍之介さん(僕の未来の仕事) (奈良女子大附属小5年)
▽奈良新聞社賞 濱田大地さん(少子高齢化問題で私たちにできること) (河合第二小6年)、井上柳央さん(幸せな世界) (広陵北小5年)、山崎権成さん(防災スクール) (真美ヶ丘東小5年)
▽クリエイティブ賞 吉田心春さん(地球を守れ! 地球温暖化問題) (川西小6年)
▽アイデア賞 野上暁登さん(国際問題探検家) (上牧第三小6年)
▽未来賞 高島有里さん(4020年の世界) (三郷北小5年)
▽審査員特別賞 久保奏颯さん(赤き絆 命をつなぐ) (血まじりが今できること) (上牧第二小6年)、平井龍之介さん(僕の未来の仕事) (奈良女子大附属小5年)



発表を見守る審査員

◆全国選抜小学生プログラミング大会とは
各地方新聞社が加盟する全国新聞社事業協議会(事務局)共同通信社内が、2020年度から全国で展開している催しです。プログラミング教育を通じて、子どもたちが思考力を養い、社会の課題解決に取り組めるように応援したい、との願いが込められています。応募資格は来年度3月卒業の小学生6年生までで、個人もしくは団体(1チーム4人まで)での参加となります。

◆最終審査出場者に各賞を授与
昨年度までは最優秀賞1人、優秀賞2人の賞品が授与されていましたが、審査員の「みんなの未来」の思いから、今年度は出場者全員に渡されました。各賞の内容は以下の通りです。

◆審査総評
奈良県立教育研究所 指導主事 森亮介さん
日々未来に向かって歩んでいる小学生(大人ももちろんですが)のみんなにとっては、今年度のテーマ「みんなの未来」は、まさに何を作ってもいいんだよというテーマであったかと思えます。そんな中、小学生が日々考えていることを自由に表現し、発表してくれました。工夫やチャレンジが見られた素晴らしい大会となりました。

◆奈良県立教育研究所 指導主事 森亮介さん
日々未来に向かって歩んでいる小学生(大人ももちろんですが)のみんなにとっては、今年度のテーマ「みんなの未来」は、まさに何を作ってもいいんだよというテーマであったかと思えます。そんな中、小学生が日々考えていることを自由に表現し、発表してくれました。工夫やチャレンジが見られた素晴らしい大会となりました。

◆株プロアシスト グローバル事業部開発課 スペシャルリスト 山神啓志さん
大変楽しい作品の数々、みんなの考える「みんなの未来」を垣間見られて良かった。自分で考えて、それをゲームなどに落とし込んで実現していく。今は画面上だけの世界ですが、将来システムや仕組み作りなどクリエイターとして、この経験を活かしていきたいことを期待しています。

◆(大)奈良国立大学機構 奈良教育大学 准教授 小崎誠二さん
生成AIの登場によって、プログラミングの世界も大きく変わろうとしています。より高度になる一方で、プログラミングを身近に感じてほしいという人が増えるでしょう。人間は、何のために、誰と何をやるのか、ということが大切になって来ると感じます。ファイナリストのみなさん、たくさん夢と希望をください。

◆(独)国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校 情報工学科教授 松村寿枝さん
奈良大会も第3回目となりました。わずか3年の間に生成AIの進歩で、作品の中にも大きく変化していく「みんなの未来」の小学生の考える未来も本音がいろいろと、とても楽しく審査させていただきました。



本大会は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)の共通目的基金の助成を受け実施されています。

https://sartras.or.jp/

